



みすずかる

須坂小学校学校だより

TEL : 026-245-0071

№0.2

令和5. 6. 16発行

視聴覚室の片隅にぼつんと置かれていたアップライトピアノ。せっかくのピアノを活用できればと思い、昇降口に移動しました。すると、早速来校された方が、「ピアノを弾いてみていいですか」と言って演奏を披露してくださいました。子どもたちも興味津々。「弾いてみたい」という嬉しい声。

今年度より、地域ボランティアの方に音楽集会で歌の伴奏をお願いしております。その方が朝の登校時間に合わせてピアノを演奏してくださいました。生演奏を聴きながらの登校。とっても良かったです。そのうちに、「私も弾きたい」と言って聞いていた子どもたちが、ピアノを弾き始めました。ストリートピアノならぬ、スクールピアノ。素敵な朝を迎えられました。アップライトピアノもきっと喜んでいるはず。よろしければ、ピアノを弾きにきてください。



避難訓練 4月14日

今年度1回目の避難訓練を実施しました。3年間コロナ禍対応により、学年毎での訓練になったり、予定通り行えなかったりと対応を迫られながらの訓練実施でした。ようやく全校で一斉に避難できたことに加え、時間の制限も緩和することができたことにより、今回は消防署の方のご指導のもと、消火器による消火訓練も行いました。

6年生の代表児童に消火器の使い方や消火の仕方を実際にやってもらいました。真剣な顔で消火の様子を見つめる子どもたちでした。併せて、消火器がいざというときに使えるように、普段は持ったりさわったりしないことについてもお話をいただきました。



150周年記念航空写真撮影 4月21日

創立150周年実行委員会にて計画している事業がスタートしました。全校参観の日に、児童・教職員・保護者の皆様、150周年実行委員、くぬぎの森運営委員の皆様と、大勢のご参加をいただき、写真撮影に臨みました。

子どもたちが考えた150周年の図案をもとに、高く上がる5つの風船、太陽、「150」「2023」の文字を参加者でかたどりしました。

航空写真の他、学校昇降口の大階段では、参加者全員が並んで記念撮影もしました。ドローンが空の上から撮影する様はとても興味深く、子どもたちもドローンの動きに釘付けとなりました。学校周辺、地域全体の写真もあります。これからでもお求めいただけます。ご希望の方は、学校にご連絡ください。



児童総会 4月24日

【自分も笑顔 相手も笑顔 スマイルいっぱい須坂小】

令和5年度 須坂小学校児童会スローガンです。

全校のみんなが、毎日を楽しみ気持ちよく過ごせるようにという願いがこめられているのを感じます。

各委員会の提案に対し、意見や質問も活発に出されました。自分たちの生活を自分たちでよりよくしたいという気持ちが伝わってきました。6年生は、入学式や第1回の児童会、1年生を迎える会と日々最高学年として計画推進し、一つ一つの会を成し遂げています。これからの活躍がますます楽しみです。



交通安全教室 5月1日

1. 2年生は、実際の道路を歩いて、正しい歩行を学びました。3. 4年生は、校庭の模擬道路で自転車の乗り方の基本を学び、5. 6年生は、実際の道路で安全に正しく乗れるように学びました。

歩行・自転車乗りの様子を見ていると、どの子どももしっかりと左右確認をして渡る姿がありました。しかし、よく見ると、左右を見るけれども、車が来ていないかをしっかり見て渡ることが不十分だったり、自転車の前輪が道路にとびだして一旦停止してから、左右確認したりするなど、さらに気をつけていかななくてはならないことも確認できました。正しく安全に歩く・乗ることについて、ご家庭でも定期的に話題にしたり、声をかけたりしていただくと安全の意識が高まり助かります。



校長講話「あいさつ」 5月11日

今年度1回目の講話は「あいさつ」についてでした。『挨拶』の「挨」の漢字には、「近づく」という意味があること、「拶」には「迫る」という意味があり、「あいさつ」は自分の気持ちを相手に伝え、お互いの距離を近づけることだと語られました。

また、なぜ、「あいさつ」をするのか、なぜ、「あいさつ」が大事なのかという子どもたちへ、

【自分から】自分から先に進んで

【つながる】話すきっかけにつながる

【認め合う】あなたを大事にしていますよ

と、本校のめざす子どもの姿に照らし、挨拶は自分から相手へ「あなたを大事にしていますよ」という思いを伝えることだというお話がありました。

私たち大人も、身近な友だち・知り合い、気心知れた人には気軽に声をかけたり挨拶をしたりできますが、あまり話したことがない方や関わりの少ない方へ挨拶をするときには、一瞬躊躇することもあるかと思います。そんなとき、何も言わず通り過ぎるより、挨拶をしたり、会釈したりして自分の思いを伝えると、ほっとしてスッキリした気持ちになる経験はありませんか。子どもたちも、「あいさつ」をするという行動を通して、気持ちを伝えることのよさを体感し、積み重ねることで、「あいさつ」することの大切さを実感していくことと思います。



演劇鑑賞教室 5月29日

劇団「うりんこ」さんによる『ともだちや』の上演でした。おおかみときつねさんの友情をテーマにしたお話の世界にどっぷりとはまって身を乗り出して見入っていました。劇団の方が演じる登場人物に心を寄せながら、大笑いする、つぶやく、時には静まりかえる等、それぞれの学年に応じた反応がありました。友だちについて考えさせられたひとときでした。

劇団員さんからは、「須坂小学校の子どもたちは、私たちがこの劇を通して伝えたいと思っていることをしっかりと受け止めてくれて嬉しかった。今日ここで演じたことはとても気持ちよく楽しかった」とお話をいただきました。



歴史遺産公開に向けて 6月5日

150周年記念事業「歴史遺産公開」に先駆けて、本校にある大正時代頃の開かずの金庫を開ける機会に恵まれました。

フジテレビで放映されている『世界の何だコレ!?ミステリー』の番組制作依頼があり、開かずの金庫を開けることや、本校にある昔の写真、保管されていた明治大正昭和の教科書等を撮影していかれました。

当日は芸人のロッチ中岡さんが、予告なしに教室に訪問したり、金庫を開ける瞬間を全校児童と一緒に見て盛り上げたりと、子どもたちにとっても忘れられない時間を過ごすことになりました。

7月5日に放映が予定されているそうです。どんな風に番組が構成されているのでしょうか。楽しみです。



重たい金庫を体育館に運び撮影